

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：『探求 言語文化』（桐原書店）

教科 国語 の目標：言語活動を通して、人間性豊かで、互いの人格を尊重し、国語で他者に表現する資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】変化の激しいこれからの社会で対応できるような国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】他者を尊重し、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】人格尊重の理念を基盤に、言語の持つ価値への認識を深め、自ら学び実行する、個性と創造力豊かな人間を育てる。

科目 言語文化 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ言語活動より理解を図り、効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		言語	書誌					
単元：歴史的仮名遣い 【知識及び技能】 ・現代語との違いを把握し、古語の特徴を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古語の特徴を理解し、単語や文章を読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古語が日本語や日本の文化に密接に関わっていることを認識し、積極的に学び関わろうとすることができる。	【指導事項】 ・古文の特徴という観点から、現代語との言葉や文法、仮名遣いの違いがあることを指導する。 ・歴史的仮名遣いの読み方、書き方について指導する。 【教材】 ・桐原書店『探求 言語文化』 ・東京書籍『新精選 古典文法』三訂版 ・一人1台端末の活用 ※意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など			【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	3
単元：品詞、動詞の活用 【知識及び技能】 ・品詞の種類と役割について理解することができる。 ・動詞の正格、変格活用を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動詞の活用の種類と活用形を判断し導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者や自分自身の言葉の使い方を鑑みながら学びに向かうことができる。	【指導事項】 ・言葉の単位や単語の分類の仕方にも触れながら品詞の区別および品詞について指導する。 ・動詞の活用、九種類を定着させ活用の種類、活用形の見分け方について指導する。 【教材】 ・桐原書店『探求 言語文化』 ・東京書籍『新精選 古典文法』三訂版 ・一人1台端末の活用 ※意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など			【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	4
単元：児のそら寝 【知識及び技能】 ・歴史的仮名遣いや動詞の活用に基づいて、古文を正しく読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・語の展開を想像しながら、登場人物の心情を読み取るができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典文学に関心を寄せ、世帯廻を羨しながら学びに向かうことができる。	【指導事項】 ・音読を行い、古文の独特のリズムや響きが意識できるように指導する。 ・動詞の活用の種類、活用形を自分で考える時間を設け、読後感や感想を導く。 ・現代語訳を参考にし語の内容を確認しつつ、児童たちの心情がどのようなものかに焦点をあてて読解をしていく。 【教材】 ・桐原書店『探求 言語文化』 ・東京書籍『新精選 古典文法』三訂版 ・一人1台端末の活用 ※意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など			【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	5
定期考査 単元：検非違使忠明のこと 【知識及び技能】 ・用言の理解を軸に現代語訳をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の心情や語のおもしろさなどを読み取り、自分の考えを持つことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・場面設定や情景を捉えるために、想像力を働かせ多面的に解釈する態度を養うことができる。	【指導事項】 ・内容に文章を読むために歴史的仮名遣いの復習、定着を図りながら音読を行い、古文の独特のリズムや響きが意識できるように指導する。 ・現代語訳をもとにかみ砕いて説明し、生徒自身が想像力を働かせて読むことができるよう、発問やペアワークを効果的に用い指導する。 ・語のおもしろさなどのようなところにあるか捉え、日常生活と結び付けて考えられるよう指導する。 【教材】 ・桐原書店『探求 言語文化』 ・東京書籍『新精選 古典文法』三訂版 ・一人1台端末の活用 ※意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など			【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。	○	○		1
単元：大江山 【知識及び技能】 ・用言の理解を軸に現代語訳をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の心情や筆者の示す教訓などを読み取り、自分の考えを持ち表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古典における歌の意味を受け入れ、理解することができる。	【指導事項】 ・内容に文章を読むために歴史的仮名遣いの復習、定着を図りながら音読を行い、古文の独特のリズムや響きが意識できるように指導する。 ・現代語訳をもとにかみ砕いて説明し、生徒自身が想像力を働かせて読むことができるよう、発問やペアワークを効果的に用い指導する。 ・筆者の示す教訓かどのようなことを考えるか意見をもたせ、日常生活と結び付けて考えられるよう指導する。 【教材】 ・桐原書店『探求 言語文化』 ・東京書籍『新精選 古典文法』三訂版 ・一人1台端末の活用 ※意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など			【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。	○	○	○	6
定期考査				○	○		1	

<p>単元：羅生門</p> <p>【知識及び技能】 ・語の展開や主題の把握など、小説を読む基本的な方法を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・多面的、多角的な視点から登場人物を捉え、それぞれの心情や行動の意味を読み取ることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分には考えられない状況や価値観であっても理解していくという態度を養うことができる。</p>	<p>【指導事項】 ・作者について学びを共有し、作品に入りやすくするように指導する。 ・時代背景や下人の状況について整理し初読の初感を書く。 ・まずは下人の視点から読解を進め、下人の人格や心情について理解が深まるように指導する。 ・老婆の視点でも物語を捉え、下人と老婆の相違点について考えられるように指導する。＊この際、視点を交えたことで生徒自身の読みにも変化があったかどうか確認しながら進める。 ・作品を通しての感想を書き、初感との比較をする。＊何が変わり、なぜ変わったのかという観点からこの活動に取り組みせるよう留意する。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>13</p>
定期考査						
<p>単元：近代の俳句</p> <p>【知識及び技能】 ・俳句の表現技巧を理解し、リズムとその効果を踏まえながら書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・人に伝えることを意識しながら、自身の考えや思いを書くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表現されている自然や人生、生活を味わいながら、感性や想像力を豊かにすることができる。</p>	<p>【指導事項】 ・各俳句の作者について理解を図り読解に役立つように指導する。 ・俳句の概要や読み方について理解できるように指導する。 ・俳句から作者の心情を捉えることができるように指導する。＊この際作者の背景を確実に捉え、生徒の想像力を駆り立てることに留意する。 ＊指導形態としてグループワークを効果的に取り入れ、書くという活動にもつなげられるように指導していく。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>7</p>
2学期						
<p>単元：漢文の基礎</p> <p>【知識及び技能】 ・漢文の構造と訓読の方法について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・基礎をもとに書き下しや音読をすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文が日本語の基礎になっていることを理解し、主体的に学びに向かうことができる。</p>	<p>【指導事項】 ・漢文が日本語と密接に関わっていることを意識できるように指導していく。 ・文法構造に関して英語と同様の構造などを紹介して理解が進むように指導する。 ・漢文を読むための訓読への理解を深めるため訓点を確実に定着させるように指導する。 ・送り仮名の送り方（きまり）について指導する。 ・書き下しの仕方について学び、書き下せるように指導する。 ＊この際書き下しをするルールも意識させながら取り組みせることに留意する。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>4</p>
<p>単元：漁夫の利</p> <p>【知識及び技能】 ・故事成語の概要と言葉の意味、由来を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・たとえ話や状況から、登場人物の真意を読み取ることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の訓読を自己や他者を見つめるきっかけとし、自分なりの考えを持つことができる。</p>	<p>【指導事項】 ・「漁夫の利」の意味について調べ、意味を踏まえつつ作品に入れるように指導する。 ・再読や各自の音読を繰り返す行い、正しく訓読できるように指導する。 ・語句や再読文字、返読文字などに注意しつつ書き下しや現代語訳をできるように指導する。 ・「漁夫の利」という故事成語の意味と自身の経験や価値観を照らし合わせられるように指導する。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 一人1台端末の活用 ＊意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>4</p>
定期考査						
○						

3 学 期	<p>単元：形容詞、形容動詞の活用</p> <p>【知識及び技能】 ・形容詞、形容動詞の働きを捉えつつ、活用を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・形容詞、形容動詞の活用を単語や文中からも判断することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活にも形容詞、形容動詞に分類される言葉が多様にあることを理解し、身の回りのことと関連付けて学びに向かうことができる。</p>	<p>【指導事項】 ・形容詞、形容動詞の性質について現代語も交えながら整理し、活用の種類や活用形を見分けられるように指導する。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 一人1台端末の活用 ※意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など</p>	<p>【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。</p>	○	○	3
	<p>単元：花は盛りには</p> <p>【知識及び技能】 ・観念性、抽象性の高い文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・随筆の特徴を捉え、時代背景や価値観を受け入れながら、自己の考えと結び付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・作品当時の価値観と現代の価値観を比較し、共通点を考えながら学びに向かうことができる。</p>	<p>【指導事項】 ・随筆という項目について指導する。その際日本の3大随筆についての補足も入れ、中学時代の既習知識と結び付けながら指導する。</p> <p>・助動詞の働きを確認しつつ現代語訳をしていき、兼好の価値観や物の見方を理解しながら受け入れ、また現代の価値観との相違点を考える中で、自己の考えをもたせるように指導する。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 一人1台端末の活用 ※意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など</p>	<p>【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。</p>	○	○	6
	<p>単元：なよ竹のかぐや姫</p> <p>【知識及び技能】 ・作り物語の文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・作り物語の表現や設定、展開の特徴を捉えながら、作り物語の魅力捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・竹取物語の文学的な位置づけを踏まえて古典の理解を深めることができる。</p>	<p>【指導事項】 ・生徒の抱く作り物語がどのようなものか考えさせ、想像力を持って文章を読めるよう指導する。</p> <p>・単語や用言の理解を頼りに生徒自身が現代語訳ができるように指導する。その際、頭に描く風景を少しずつ具体化してより作品の世界を感じられるような声掛けをする。</p> <p>・読解をした後、作り物語の魅力を自己の経験と結び付け、そこから得られたものについても考えを深められるように指導していく。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・東京書籍「新精選 古典文法」三訂版 一人1台端末の活用 ※意味調べ、チャットによる意見、振り返りシートの提出など</p>	<p>【知識及び技能】 ・小テストや定期考査の知識、技能に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・授業内外におけるワークシートや課題の記述内容、定期考査の思考力、判断力、表現力に関する設問の得点率で評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・発言回数や提出物の有無その内容、ワーク、グループ活動における態度などを総合的に判断し評価する。</p>	○	○	4
定期考査				○	○	1
						合計
						70